

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

2025年 6月 13日

群馬県知事 あて

提出者 〒372-8550
住 所 群馬県伊勢崎市粕川町1801氏 名 山崎製パン株式会社 伊勢崎工場
執行役員工場長 板橋 進

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0270(23)3111（代）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	山崎製パン株式会社 伊勢崎工場
事業場の所在地	群馬県伊勢崎市粕川町1801
計画期間	2025年4月1日～2026年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E09食品製造業（製餡・加工食品・ジャム・クリーム 他）
②事業の規模	360.50億円
③従業員数	744名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">・汚泥⇒脱水⇒乾燥⇒肥料化・動食物性残渣⇒肥料化・飼料化・廃プラスチック⇒破碎・焼却・ガラスくず⇒粉碎・原料化・鉄くず⇒破碎・金属原料化

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者—工場長

管理責任者—総務課長 (担当廃棄物：廃プラスチック、動植物性残渣、ガラス屑)
廃棄物適正処理の指導、廃棄物の減量化・再資源化の計画立案

管理責任者—工務課長 (担当廃棄物：汚泥、金属くず)

工場内中間処理施設の運営・保守・管理

事務局—総務課 廃棄物のデータ管理、減量化・再資源化の計画立案

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（2024年度）実績】

産業廃棄物の種類

汚泥

廃プラスチック類

排 出 量

13,738 t

802 t

(これまでに実施した取組)
動植物性残渣として排出していた甘納豆類を有価売却に変更した。

②計画

産業廃棄物の種類

汚泥

廃プラスチック類

排 出 量

13,600 t

790 t

(今後実施する予定の取組)
産廃物を細分別することで有価売却物を増やす。

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
ビニール付原料袋の有価売却が可能な業者を選定中。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
ビニール付原料袋の有価売却が可能な業者の選定を継続。

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
4,514 t	1.71 t	28.56 t	

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	金属くず	
4,470 t	1.70 t	28.30 t	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13,373 t	t
	(これまでに実施した取組) 汚泥乾燥機のメンテナンスを行い運用の安定化を図った。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	13,240 t	t
	(今後実施する予定の取組) 残渣等の付着物を排水と一緒に流さないよう再教育する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2024年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	365 t	802 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	365 t	147 t
	再生利用業者への 処理委託量	365 t	471 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	331 t
	(これまでに実施した取組)		
	廃プラの再資源化の質の向上（熱回収→固形燃料化）に対応可能な委託業者を選定中。		

(第4面) - 2

t	t	t	t

t	t	t	t

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	金属くず	
4,514 t	1.71 t	28.56 t	t
1,409 t	t	t	t
4,514 t	1.71 t	28.56 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	360 t	790 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	360 t	150 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	360 t	460 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	330 t
	(今後実施する予定の取組) 廃プラの再資源化の質の向上(熱回収→固形燃料化)に対応可能な委託業者の選定を継続。		
※事務処理欄			

動植物性残さ	ガラスくず・コンクリート くず及び陶磁器くず	金属くず	
4,470 t	1.70 t	28.30 t	t
1,390 t	t	t	t
4,470 t	1.70 t	28.30 t	t
t	t	t	t
t	t	t	t